

学長のコラム

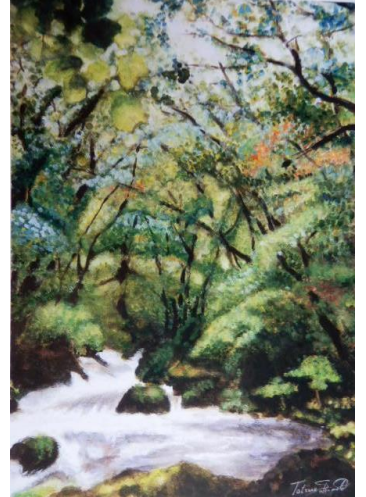
感動のリオ五輪

男子マラソンを最後に 17 日間のリオ五輪が閉会した。久しぶりに、がんばれ！と TV に声援をおくる興奮、スポーツの楽しさ、厳しさを満喫した。最終日前の男子サッカー決勝では、1 対 1 のまま PK 戦に突入、最後に、エース ネイマールが決めて、開催国ブラジルがドイツに勝利、スタジアムの興奮は表彰式まで続いた。国技とも言えるサッカーでの金メダルは、準備から閉会に至るまでの労苦に対する開催国ブラジルへの神からのご褒美とも受けとれた。

日本も、競泳男子 400m 個人メドレー萩野、競泳女子 200m 平泳ぎ金藤の金メダルを皮切りに、柔道男女が躍進した。レスリング女子の活躍の中にあつて、53kg 級の吉田の 4 連覇ならず、「申し訳ありません」の涙の銀メダルも印象的であった。伊藤・石川・福原の卓球女子団体の銅メダル、水谷・丹羽・吉村の卓球男子団体の銀メダル、山縣・飯塚・桐生・ケンブリッジの陸上男子 4×100m リレーの銀メダルは歴史的快挙である。シンクロナイズドスイミングのデュエットとチームでとった銅メダルでは、コーチ（井村）の力の大きさと選手との信頼関係に感動した。

圧巻は、バドミントン女子ダブルスであった。高橋・松友のペア対デンマークの決勝戦で、1 対 1 で迎えた第 3 ゲーム 16 対 19 で負けているところから、5 ポイント連取し、21 対 19 で、大逆転勝利、同種目五輪初の金メダルを獲得した場面は、力が入った。

終わってみると、獲得したメダル 41 個で、世界 6 位という好成績であったが、その内訳を表にしてみた。日本女子はすごい！何と金メダルは女子の方が多のである。日本チームの金メダル獲得数計 12 と、当初の予想（括弧内に示す）を比較すると、レスリング 4 (3)、体操 2 (4)、競泳 2 (2)、柔道 3 (3)、バドミントン 1 (1)、フェンシング 0 (1) であった。競技以外でもいろいろなことがあったが、開会式、閉会式とも、演出の素晴らしさは、特筆に値する。東京五輪で、日本がどのようなスポーツの祭典を創り出せるか 4 年後が楽しみである。



	金	銀	銅	計
男子	5	7	12	24
女子	7	1	9	17
計	12	8	21	41

8 月・9 月の主な行事予定

8 月 5 日 (金)	助産別科実習認定証授与式
8 日 (月)	前期定期試験 (予備日含む) (~13 日)
15 日 (月)	職員夏期休暇 (~18 日)
21 日 (日)	第 2 回オープンキャンパス
24 日 (水)	第 1 回 SD 研修会
25 日 (木)	情報セキュリティ・個人情報保護委員会合同研修会
27 日 (土)	医検 4 年、看護 3・4 年対象 保護者会
28 日 (日)	チャンレジ熊本大！推薦入試対策講座
29 日 (月)	第 1 回 FD セミナー 九州大学 田中真理先生
30 日 (火)	合同職員研修、主任・管理職研修 (事務) (~31 日)
9 月 5 日 (月)	合同中堅職員研修 (事務) (~6 日)
7 日 (水)	合同中堅職員フォローアップ研修 (事務)
10 日 (土)	言語 2・4 年対象 保護者会
23 日 (金)	後期ガイダンス
24 日 (土)	医検 3 年、理学 2 年、生活 3・4 年対象 保護者会
26 日 (月)	学校法人銀杏学園理事会、後期授業開始

*

*

インカレ壮行会

6 月 24 日 (金) の昼休み、第 66 回九州地区大学体育大会 (九州インカレ) 壮行会が開催されました。本学から参加する競技種目はサッカー (男子)、バスケット (男女)、バドミントン (男女)、バレーボール (女子) です。崎元学長から、「力を出し切ってやるだけの事はやったと思って帰ってくる、そのために体調管理・チームの戦術・勝ちたいという心の強さの 3 点を大事にして欲しい」と激励の言葉を頂戴しました。各クラブとも 7 月上旬に熱戦を繰り広げ、持てる力を出し切ることができました。(文責：学務課長)



オープンキャンパス

7月24日(日)、8月21日(日)にオープンキャンパスを行いました。両日とも、猛暑にも関わらず、熊本県外も含め多くの高校生や保護者の方々にお越しいただきました。今回は、8月28日(日)のチャレンジ熊保大！推薦入試対策講座を開催予定です。

<p>全体説明会</p> 	<p>医学検査学科</p> 	<p>看護学科</p> 	<p>理学療法学専攻</p> 
<p>生活機能療法学専攻</p> 	<p>言語聴覚学専攻</p> 	<p>共通教育センター</p> 	<p>助産別科</p> 
<p>保護者のための説明会</p> 	<p>校舎見学会</p> 	<p>相談コーナー</p> 	<p>在学生との交流</p> 

私の秘話ヒストリー

今回は言語聴覚学専攻 塩見将志教授に投稿していただきました。

少し前になりますが、テレビをつけるとNBAの特集が行われていました。あらためて、アメリカのプロバスケットのレベルは凄いと感心しながら「あのタイミング・スピードでシュートを打ち、しかも決めるのか」と独り言を言っていました。

しばらくすると私は、小学校の卒業文集で「NBAの選手になること」しかも「NBAで活躍した後は日本で小学校の先生になること」を将来の夢として記していることを思い出しました。

小学生の頃の私は、バスケットに夢中で練習に励んでいました。そして、先生とチームメイトに恵まれたこともあり、四国大会で準優勝をすることが出来ました。その結果として、子どもながらに少し調子に乗ってしまったのでしょうか、大きすぎる夢を卒業文集に記してしまいました。

45歳の今となつては、苦笑するしかありません。

しかし、小学校と大学という違いはありますが、もう一つの夢であった「先生」になることが出来ています。

私が夢をかなえることが出来たのは、多くの人の支えがあったからに他なりません。

そして今は、言語聴覚士に成りたいという学生の「夢」がかなうように、しっかりと学生を支えていきたいと思つています。また臨床の場面でお会いする子ども達が幸せになるように、子どもたちもしっかりと支えていきたいと思つています。(文責：塩見教授)

県内外の高校・予備校教員対象進学説明会

7月7日(木)に50周年記念館において、県内外の高校及び予備校の先生方をお招きし、進学説明会を開催しました。



当日は、54校64名の方々にお越しいただき、大学概要や入試概要の説明の他、米満理事長による公開講座「人生のターニングポイント」等を行いました。

「基礎セミナー」合同発表会



7月27日(水)に「基礎セミナー」合同発表会がありました。今年は地震のために初回の授業の後3週間の休講。予定していた学外授業が延期・中止となり、学生教職員も被災し、大変な学期でした。全32セミナーが前半のポスター発表と後半の口頭発表に分かれ、学んだ内容を紹介。企画、運営、進行すべて各セミナーから選出された学生リーダーによるものです。それぞれが工夫を凝らした発表で、学生は互いに良い刺激を受けたようです。



(文責：渡辺共通教育センター長)
写真上：ポスター発表、写真下：口頭発表